

Title	懷徳堂記事
Author(s)	
Citation	懷徳. 1941, 19, p. 48-49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/89079
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

懷徳堂記事

「所感」と題する講話あり。

▲記念祭典竝講演 昭和十五年十月十二日記念

祭典を執行、終つて文學博士西田直二郎先生の「日本書紀と肇國の精神」と題する記念講演あり。

▲理事補缺選舉と評議員推薦 同日新大阪ホテ

ルに於て評議員會を開き、理事補缺選舉の結果、古田俊之助氏當選、次で高原操、高石眞五郎一瀬彙吉、森下博の四氏を評議員に推薦、何れも承諾を得たり。

▲皇紀二千六百年奉祝式 同年十一月十九日午

後四時半より大講堂に於て皇紀二千六百年奉祝式を舉行、小倉理事長の挨拶、狩野博士の

▲支那語開講 同十六年一月十四日より定日講

義中に支那語講座を設け、關西學院教授張源祥氏を招聘し毎週火、金曜一時間宛開講す。

▲小倉理事長國務大臣に就任 同十六年四月二日小倉理事長國務大臣に就任せらる。

▲藤原銀次郎氏來堂 同年六月十三日前王子製

紙社長、前商工大臣藤原銀次郎氏來堂、吉田助教授、木間瀬常務理事、本堂の沿革、事業等につき説明す。

▲小倉理事長大藏大臣に就任 同年七月十八日

小倉理事長は近衛第三次内閣成立に際し、大藏大臣に就任せらる。

▲講義、講演時間變更 昭和十五年十一月より

講義、講演時間を次の通り變更す。

定日講義 十一月より三月まで午後六時半より八時半まで、四月より十月まで午後七時半より九時まで。

講 演 十一月より三月まで午後六時半より八時まで、四月より十月まで午後七時より八時半まで。

▲現行講義、講演科目 定日講義 月曜、靖獻遺言、小學纂註、火曜、支那語、大學音讀、水曜、韓非子、木曜、萬葉集、十八史略、金曜、孟子、支那語、土曜講演 東亞共榮圈の諸問題、本草、通俗講演 經濟上より見たる近代支那

堂友會記事

幹事 酒井全太郎

▲昭和十五年十月十二日

懷德堂恒祭に會員一同奉仕す。

▲十月二十日

東寺の見學を催す。指導者源豊宗先生の臨地講演を拜聽後佛像を見學す。尙京大花山天文臺見學豫定のところ雨天のため中止。參加者は吉田銳雄先生を初め四十名であつた。

▲十一月十六日

大講堂に於て紀元二千六百年奉祝式を舉行せらる。理事長小倉正恒先生、顧問狩野直喜先